



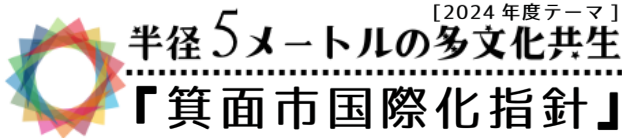
No.208 発行元・返還先：(公財) 箕面市国際交流協会

【賛助会員数】個人：297 名 法人：24 団体 (12 月 11 日現在)

〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920

E-mail：info@mafga.or.jp Web：https://mafga.or.jp



半径5メートルの多文化共生

「箕面市国際化指針」から見る地域と多文化共生

日本も、箕面市も、昨年選ばれた新首長のもとで新年を迎えた。新たな希望が生まれる、いい年になって欲しい。正月早々硬い話で恐縮だが、新年だからこそ、当協会の将来に関わる話をさせていだきたい。

我々の活動は節目に来ている。即ち当市の国際化指針「多様な文化に彩られる、豊かな共生のまち「箕面」をめざして」(以下、現指針)は策定後12年を経て、改訂の話が出ているという。豊中市も2014年策定の「多文化共生指針」を10年経た2024年2月改訂した。ついては「めろん」編集部は、昨年10月末、現指針の諸問題を話し合う勉強会を持った。その結果を紹介したい。事務局3名、ボランティア2名が参加した。

この12年の間に、国は労働移民を受け入れる方向に方針転換した。少子高齢化で労働人口が減る中、経済を維持するための方策の一つとして決まった。それを円滑に進めるため国は共生施策の検討も始め、「外国人材受入れ・共生のための総合的対応策」などが2019年に出され、毎年改訂されている。

現指針の改訂にあたっては、これら国の動きと関連して多文化共生に絡む諸事情がこれからの10年にどう変わると予想されるか、どういう課題が出てくるか、また、現指針の全施策の進捗状況を評価し、重要課題で遅れているものはなにか、それらをこれからの10年でどう推進すべきか、等々について考えねばならない。同時に現指針で問題と思われる箇所は何かも見ておかねばならない。

在留外国人数の一層の増加への対応を考慮しておくべき：

2023年1月～2024年6月の1.5年の間、上記国の方針もあって1年に10%のペースで在留外国人数が増加している(入管資料)。コロナ前の2013～2019年で平均6%の増。今後10年、これまで以上に増えると考えておくべきだ。また上記国の方針もあって家族帯同、永住可能な在留資格「特定技能2号」等が創設された。今後は子どもも増えるだろう。文科省によれば、2023年の時点、過去10年で日本語指導が必要な小中高校生数は倍増している。彼らへの支援は今でも不足気味。例えば高校生の場合、言葉が分からず、約9%が退学している(日本人の場合約1%。文科省)。今後は外国人児童数がもっと増え、更に支援が必要になろう。相談事業も同じだ。これらにどう対処するか。今後の10年を考えると、共生用AIが開発され、AIによる多言語相談、日本語教育が可能にならねばならないと思う。人+AIによる相談事業、日本語教育のシステムをどう構築するか課題となろう。

現指針で進捗が遅れている重要施策への対応：

全ての進捗評価はこれからだが、今気にかかるのは、基本方針4の施策2「(外国人市民も)気軽に集える地域コミュニティの構築」、及び同施策4「外国人市民の社会参画の推進」の2点。真の共生社会をめざすにはこの2点は欠かせない。新指針にも必ず盛り込むべきと思う。

施策2：例えば災害時には日本人、外国人市民が連携・協力して当たるべきだが、そのためには何らかの両者の地域コミュニティが構築されていなければならない。

施策4：箕面市には市と市民が協働して地域社会を発展させるという基本理念に基づく条例(1997年「箕面市市民参加条例」)があり、この「市民」は外国人市民も含む。施策4はその理念に基づき、日本人、外国人市民が対等な立場で市政について意見を言い、共に地域を発展させるという共生社会としてあるべき姿を示している。方法はアンケート調査で外国人市民の意見を募る、委員会などに彼らが委員として参加する、パブリック・コメント(パブコメ)が実施されているテーマには彼らもパブコメ制度に則って意見を伝えるなどがある。いずれもこの12年進捗なし。現状多くの外国人市民は箕面市のこういう理念を知らないであろう。言葉の壁が大きい、まずはこの理念を周知すべきと思う。勉強会なども必要かもしれない。

施策2・4とも、次の10年で成果がでるよう、どの部署がどう進めるか新指針で示すべきだ。

予算対応：

諸施策は予算がなければ実行できない。多文化共生は豊かな社会を生むが、そのためにはコストもかかる。予算の確保、国の交付金申請などきっちりやる必要がある。新指針でも言及すべき。

その他、勉強会で出された意見：

○現指針の改訂では、当然、国の対応策も参考にすべきであるが、国が言う「共生」には、現指針にある「外国人市民の意見の行政への反映」などの視点は見られないので、この点は箕面の指針が一步進んでいる。

○現指針は役割分担があいまいで、進捗管理についても定めはない。これらは新指針では改善すべきだ。「外国人市民、留学生に「親善大使」の役割を担ってもらい、箕面市の魅力を国内外に発信する」という重点項目など、担当部署が記されていないので、誰も何もしていないであろう。担当部署が明記されていれば、実行するのに予算が必要な場合も要求がしやすい。

○現指針には4つの基本方針があるが、一番が「世界とつながる魅力づくり」でその中に姉妹都市交流などが含まれる。姉妹都市交流は重要であるが、トップに持ってくるべきか、新指針では指針の順番を検討すべきでは。

○外国人市民が抱えている課題を知るため、アンケート調査をある周期で行うことを明記し、その予算も考えておくべきである。

○外国人児童の教育については、学校での登校児への対応だ

けでなく、不登校や高校中退等の問題への対応も新指針では記載すべきである。

○指針は10年おきに見直すという一項を入れるべき、等々の意見があった。

改訂にあたっては、多様な意見を反映させるプロセスにより今後10年でこれまでより一歩進んだ共生空間を生む新指針が生まれることを期待したい。(荻野)



多文化リレーエッセイ

みのおエコクラブと私とマフガ (佐藤 譲)

「めろん」愛読者の皆様、新年あけましておめでとうございます。「みのおエコクラブ」を主宰して20周年になりますが、私は元気な80歳です。還暦を迎えてこれから何をすべきかと考えていた時、私たちが自然との触れ合う機会が少なくなっている現状に気がきました。次世代を担う子ども達に、自然とふれあう機会を作れば良いと思いつき、仲間と2004年に「みのおエコクラブ」を立上げ、子ども達を誘ってハイキングや水遊び、竹とんぼづくりなどを始めましたが参加者が増えませんでした。参加を促す為箕面観光ホテルの駐車場を借りて「ダンボールキャンプ」を始めました。家族が協力してダンボールを組み立ててマイハウスを作り、星空の下で寝ます。これが人気を呼び10年経って親子会員が120名を超えました。

2013年には市から依頼された耕作放棄地を子ども達と有志で、開墾・整備して農園を造って無農薬の野菜を育てながら自然を愛し、学び、楽しんでいます。春は花見会、竹の子堀や種まき、芋を植付ます。夏は協会の皆様と夏バテ防止の「シソジュース」を作ります。秋は芋や、ハヤトウリ等の収穫、「キャッサバ」を協会の子供達と一緒に掘ります。冬は芋煮会、リース作り、左義長では無病息災を願います。サマーキャンプは竹トンボ飛ばし、子ども達が作ったカレーを食べ、自然の中で「セミ」の羽化の観察や遊びながら、子ども達の林間教室になっています。

多民族フェスティバルでは「竹トンボ」作りを続けています。竹トンボは、誰でも、いつでも、何処でも楽しめる子供の遊びです。オーストラリアへ遊びに行った親子が海岸で「竹トンボ」を飛ばしていたら、沢山の人の目に囲まれてうれしかったというエピソードを聞いて、うれしい気持ちになりました。

「みのおエコクラブ」は3歳から誰でも参加できます。自然の中で遊び、学び、楽しめる集まりです。詳細はヤフーで「みのおエコクラブ」・「箕面市 佐藤 譲」で検索してください。



【筆者紹介】佐藤 譲 (さとう・ゆずる)

みのおエコクラブ主宰。協会とは、栗生間谷にあったときから10年以上のおつきあい。協会ホームページのどこかに、佐藤さんが隠れています。ぜひ、探してみてください。

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で40年の歴史～

*バレエコース：「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Diploma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才～80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース：徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前(駅より30M)
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社)日本バレエ協会会員・AODT会員



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

【申込み先】 ☎: 072-727-6912 FAX: 072-727-6920 Web: mafga.or.jp

募集

comm cafe 職員募集



勤務日: 週4日 (シフト制)
※土曜または日曜の勤務あり
給 与: 時給 1,140 円
採用人数: 1 名
採用時期: 2025 年 2 月中旬～
選考方法: 書類選考および面接 (1/17-18)

1/13 (月)
17:00 〆切

コムカフェスタッフとして活躍しませんか? 国籍・年齢・性別は問いません。要件は①～③の3点です。ふるってご応募ください。
①日本語で事務作業のできる方 ②普通自動車運転免許がある方
③飲食業での経験や調理のできる方

じょうほうこうかいかい
情報交換会1/14 (火)
12:00-13:00

たげんごそうだんいん じょうほうこうかいかい ぼうさい
多言語相談員による情報交換会 「わいわい」 テマ: 防災
避難所って何? どこ? 地震が来たらどうすればいいの? 基本的な防災
についての情報を知りましょう。ネパールのミルクティー・チャイが飲めま
す。 ◎ 多言語相談員 (英語・中国語・ネパール語が話せます)

場 所: comm cafe
参加費: 無料 (申込み不要)

キューズリビング

1/28 (火)
① 10:30- ② 13:30-

食でつながる、このひと、この世界



地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに文化や講師の経験
を紹介します。ドリンク片手に、ざっくばらんにおしゃべりしましょう。
◎ シン・ルーバ (インド)

場 所: キューズリビング (みのおキューズモール)
参加費: 各回 550 円 (要申込)
定 員: 各回 5 名
申込み: QR コードから

説明会

2/22 (土)
13:30-15:00

2024 年度 第 3 回ボランティア説明会

協会が新たにボランティアを始めたい人を対象に説明会を開催します。
協会の事業についての説明や、活動グループの紹介をした後、ブースごと
に活動説明と登録を行います。

場 所: 多文化交流センター
参加費: 無料
定 員: 20 名
申込み: QR コードから

他団体からののお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

セミナー

1/11 (土)
13:30-15:30第 97 回 教育カフェ～ 100 回つづける対話マラソン～
日本とモンゴルを生きる

エネビシさんの歩んできた半生と、現在のコムカフェの土台と
なる理念と活動を紹介していただく。お話をふまえ、参加者全員
で対話をする。 ◎ 話題提供者 トルガー・エネビシ (協会職員)



場 所: 多文化交流センター comm cafe
参加費: 700 円 / 定員: 40 名
申込み: Peatix ページ (左記 QR コードから)
主 催: 認定 NPO 法人ココレオの森
協 力: (公財) 箕面市国際交流協会

大阪大学

毎月第三木曜日
1/16 (木)
19:00-20:00

マンスリー多文化サロン

「ガルシア・マルケス『百年の孤独』を読む」

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。
*オンライン併用のハイブリッド開催です。
◎ 松本健二 (大阪大学 人文学研究科 教授)

参加費: 無料
場 所: 大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室
申込み: ホームページもしくは TEL
<https://www.sfs.osaka-u.ac.jp/>
主 催: 大阪大学外国語学部
申込み・問合せ: 072-730-5013

講演会

1/26 (日)
14:00-15:30

みのお中国文化に親しむ会 第 74 回講演会

「ラシテ文字で記述された高度な文化的內容」

2023 年 11 月の講演会に引き続き、漢字以前からあった「ラシテ文字」を
取り上げます。
◎ 中山晴樹 (LLE アカデメイア理事)

場 所: 船場生涯学習センター
参加費: 1,500 円 (学生以下 750 円)
主 催: みのお中国文化に親しむ会
後 援: (公財) 箕面市国際交流協会
申込み・問合せ: 072-722-6234 (市村)

めろん編集部

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、山下三千世、鷲尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、小野田亜紀

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得
昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: ☎562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

こちらは、多文化交流センター (小野原) コムカフェのメニューです

1 月
January

comm cafe ランチカレンダー

《簡易版》

水～土曜

 9:30 - 11:30 朝カフェ
 11:30 - 14:00 日替わりランチタイム (¥990)
 14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日

 9:30 - 10:00 カフェタイム
 10:00 - 13:00 世界の朝ごはん (ドリンク付 ¥770)
 13:00 - 17:00 カフェタイム


ホームページ



Facebook



Instagram

AirPAY を導入しました!

各種電子決済、QRコード決済
がご利用いただけます。

comm cafe 直通 TEL:072-734-6255 (予約もこちらから!)

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
		休館日 (2024 年 12 月 29 日～2025 年 1 月 3 日) ● 店内メニューもお持ち帰り可能です。 ● メニューやシェフは変わることもあります。 ● ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、お気軽におたずねください。			ルーパさん <<インド>> ラクトベジタリアン	MAFGA スナック
6	7	8	9	10	11	12
休館日	店休日	MAFGA スナック	MAFGA スナック	ノックさん <<タイ>>	MAFGA スナック 教育カフェ (P.3 参照) 「日本とモンゴルを生きる」 13:30-15:30	MAFGA スナック
13	14	15	16	17	18	19
休館日	「わいわい」	ファルザナさん <<バングラデシュ>> 	ヤスミンさん <<バングラデシュ>>	山口さん <<中国>>	ジェニーさん <<アルメニア・シリア>>	MAFGA スナック
20	21	22	23	24	25	26
休館日	店休日	ホーさん <<香港>>	へバさん <<シリア>> 	ルーパさん <<インド>> ラクトベジタリアン	ファルザナさん <<バングラデシュ>> 	ベトナム旧正月 「テト」イベント 準備中!
27	28	29	30	31	イ … カフェで開催するイベント ス … スナックの日 (スナックメニューは HP・FB でご確認ください)	
休館日	店休日	ノックさん <<タイ>>	へバさん <<シリア>> 	洪さん <<コリア>>		

箕面市国際交流協会の

多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912

(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

 子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格
 など、生活での悩みや困りごとに対応します。
 秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター



チカノバ

協定管理者：(公財) 箕面市国際交流協会

※ギャラリー・カフェともに月・火曜定休

ギャラリー：10:00～21:00

カフェ：11:00～20:30 (日曜は～18:00)

水・木・金の 14:00～16:00 はカフェをクローズします

「フード」×「アート」×「ハート」をテーマに、箕面船場阪大前駅改札すぐにオープン!



ホームページ



Facebook



Instagram

 北大阪急行線・箕面船場阪大前駅 改札階 (地下3階)
 (〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー)
 TEL:072-734-8711 (ギャラリー) / 072-734-8722 (カフェ)
 FAX:072-734-8732 Email:chikanova@mafga.or.jp